

不許複製・無断展開不可



感動のそばに、いつも。

Japan Mobility Show Bizweek 2024 プレゼンテーション

JTBが描く地域の未来のカタチ

～ ツーリズム×モビリティ活用の将来 ～

株式会社JT B
取締役常務執行役員

森口 浩紀

森口 浩紀(もりぐち ひろき)

株式会社JTB 取締役 常務執行役員

エリアソリューション事業部長



- 1990年 (株)日本交通公社 (現(株)JTB) 入社、法人組織へのMICE事業を中心に、顧客の課題解決に携わる
- 2006年より(株)JTB西日本(2006年地域・マーケット別分社化)にて営業政策全般、2010年～人事全般マネジメントに携わる
2013年より和歌山支店長、2016年より京都支店長として地域に正対し地域交流事業への取り組みを行う
- 2021年より執行役員 エリアソリューション事業部長(現職)
観光地や観光事業者のサステイナブルな観光地経営を支援すべく、さまざまなソリューション開発に取り組んでいる

地域の未来を創造する

持続的なデスティネーションの発展を目指して、**継続的な「交流」を生む仕組みづくり**に取り組む

	観光DX事業	観光地整備・運営支援事業	エリア開発事業
概要	事業者の生産性向上 DXソリューション開発	事業者・自治体の運営支援 各種ソリューション提供	地域共創による観光地開発 地域のバリューアップ
顧客	観光事業者、自治体、DMO	観光事業者、自治体、DMO	旅行者・地域住民
効果	旅行者の体験価値向上（情報検索が簡易、シームレスな旅行体験、その地ならではの体験）		
	観光事業者や自治体のサービスと生産性向上（業務効率化）		
	地域・エリア全体の価値向上（エリア全体の人流増と消費額アップ、地域住民の満足度向上）		

観光客、観光事業者、地域 “三方良し” の実現

誰かひとりが利益を得るのではなく、**観光に携わるすべての人の利益に繋がる**事業であること

	観光客	観光事業者	地域
観光行動 関連課題	<ul style="list-style-type: none">● 渋滞・行列回避● シームレスな予約・利用● 待ち時間短縮● その地ならではの体験	<ul style="list-style-type: none">● 来場者波動の把握● 安定的な観光収入● 人材不足の解消● 適正な調達・在庫管理	<ul style="list-style-type: none">● 観光消費額の向上● 観光事業者の誘致● インバウンドの誘客● 地域住民の満足度向上

様々な事業共創パートナーと、課題解決にむけた提案を行っています
観光課題解決には、**モビリティの活用が欠かせません**

事例) 沖縄エアポートシャトルバスの運行

【課題】

- ・那覇周辺では、レンタカーを借りる人が集中し大渋滞…
 - ・島民&観光客のETC利用率が低く、高速入口も大渋滞…
 - ・観光渋滞によって、地域住民の通勤・通学に支障が発生
- 観光客の半数が訪れる**北部までの特急バス事業に着手**

沖縄エアポートシャトル

- * 那覇空港～リゾートエリア～美ら海水族館を結ぶ路線バス
- * 事業主体者:有限責任事業組合(沖縄JTB出資50%)
- * 事業開始:2018年



事例) 混雑ルートの代案提示(観光レコメンド)

【課題】

- ・美ら海水族館へのナビは、海沿いを案内(最短・最速優先)
 - 間接的に渋滞を誘発(交通事故に発展するケースあり)
 - 足元、大規模工事で大型ダンプが道に連なり、印象悪い
- 観光客への行動変容を促す事業で、混雑緩和・満足度向上**

沖縄ゆいまーるプロジェクト

* 車載用アプリ「スマイルくん」によるレコメンド

レンタカー車内で

- ① 渋滞回避ルートを案内
- ② おすすめスポットを紹介
- ③ 事故多発地点での注意喚起 を行う

* 事業主体者: 沖縄ゆいまーるプロジェクト

↳ 企業6社 + 大学2校 + 沖縄県警の連携事業

* 実証事業開始: 2023年3月(観光分野の解析)

貸出時及び停車時

A B C おすすめ情報を見ない

A 名護城公園ビジターセンター subaco
なんぐすくこうえんびじターせんたー すばこ

DATA
住所/沖縄県名護市名護 5511
営業時間/10~17時 (LO16時30分)
定休日/不定休

レンタカー利用者限定特典

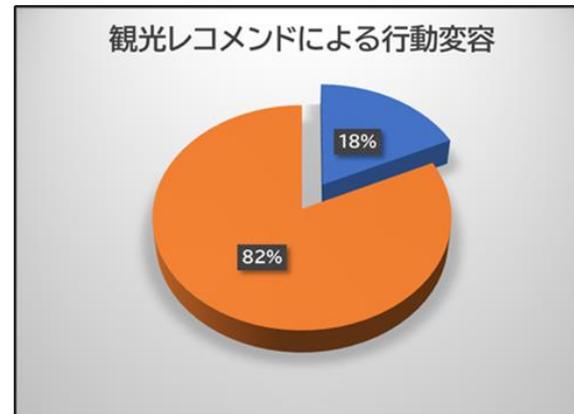
オリジナルソーダ30%割引

利用時には、受付にてレンタカーキーと「渋滞緩和実証実験に参加中」と記載されたシートをスタッフに提示ください。
※オリジナルソーダ注文1杯につき上記割引適用
利用期間: 2023年2月20日(月)~12月31日(日)

走行時

運転診断状況を「かわいいイラスト」でお知らせ

危険な交差点に近づいた時には、進入方向に画面&音声でタイムリーに注意喚起を促す



【課題】

- ・沖縄北部ホテルの送迎拠点がない(那覇空港の往復送迎)
※各ホテルの送迎は1日1便程度、フレキシビリティがない
 - ・2次交通拠点がない(結局、那覇空港周辺で車を借りる)
- **北部にモビリティベースを整備、観光交通の結節点を構築**



観光DXでつくる 地域の未来のカタチ





- ▶ 今、自分がいる場所まで、自動運転の車がバレーサービス
- ▶ 車が目的地に到着時間を連絡シームレスな観光の立役者に
- ▶ 手荷物別送→手ぶら観光を実現

観光客が旅行中に抱える悩みのひとつは、荷物の持ち運び。次世代の観光は、ホテルまでの荷物配送と観光移動を別のルートで行うスタイル「ラゲッジフリー」になるでしょう。重い荷物は自動運転タクシーに預けて、ホテルまで事前配送しておけば、コインロッカーを探す手間も省けます。いよいよ自動運転が実現すると、手ぶら観光がこれからのスタンダードに。「オートバレー」は、スマホで自動運転タクシーを呼び寄せるソリューションです。観光客の位置情報を確認して、観光を終えた後など、希望すればいつでもあなたがいる場所まで迎えに来てくれます。次のスポットやホテルまでの移動がスムーズになり、移動に関わる手間やストレスがなくなります。

温泉観光地における Society5.0の 実現に向けて

“次世代の温泉観光地”をテーマに、
DXを用いた持続可能な観光地づくり
についてディスカッションします。

2024.10.17 Thu.
13:30-14:30

会場 幕張メッセ
国際会議場 コンベンションホールB



(株) JTB
取締役常務執行役員
森口 浩紀 氏



(株) 宝荘ホテル
代表取締役
宮崎 光彦 氏



(株) テーブルクロス
代表取締役CEO
城宝 薫 氏



Kotozna (株)
代表取締役
後藤 玄利 氏



感動のそばに、いつも。